



ふれあい

2023年11月
現在の会員数
男性 1,402名
女性 745名
合計 2,147名

2023年/11月
179号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



第60回「商工まつり」への参加



秋の交通安全パレードに参加

●目次

- 第60回府中市商工まつりに参加 2
- 高野市長とセンター役員懇談会 3
- 第32回安全推進大会「脱水勉強会」開催 3
- 西府地区地域懇談会開催 4
- 日帰りバスツアー（日の出町ごみ処分場） 4
- 航空自衛隊府中基地見学会、生涯現役！輝くシルバーさん 5
- 秋の交通安全パレード 6
- 働く会員の職場訪問
（府中朝日フットボールパーク管理棟・清掃業務） 6
- KSK写真コンテスト、住吉地区ボランティア清掃 7
- 植木剪定講習会 8
- 作品展募集、行事予定、訃報、編集後記 8

第60回 府中市商工まつりに参加

8月5日(土)～6日(日)、大國魂神社境内で4年ぶりに商工まつりが開催され、当センターも大鳥居前において参加しました。



お祭りでは、酷暑の中を大勢の人が来場しさまざまな出店ブースに立ち止まり、買い物や飲食を楽しんでいました。

主催者発表で、来場者数は24万2千人でした。当センターの参加者は延べ42名で、来場者対応の傍ら、小休憩、給水をとりながらの活動となりました。

当センターのブースでは、小さいお子さんを対象としたスーパーボールすくいが好評であり、691人の来場



者があり、目玉商品として入れた大きなボールを難なくすくうお子さんもいて、保護者共々大変盛り上がりました。また、小物班のブースにもたくさんの方が来場され、それぞれに



お気に入りの商品をご購入いただきました。リカちゃん用の手編みの洋服はとても可愛いもので、お子様を含め多くの人の目を引きました。

2日間を通じて、当ブースの来場者に当センターのチラシ(800部)、ミニうちわ(1,100枚)、コットンバック(800枚)を配布しました。



ミニうちわはすぐになくなるなど、とても好評でした。
また、入会、仕事等の相談については、積極的に勧誘した結果、チラシを配布し説明をした件数は57件となりました。



高野市長とセンター役員懇談会

8月16日(水)午後4時からふれあい会館で、高野市長とセンター役員との懇談会が開催されました。同市の柏木福祉保健部長も出席されました。



冒頭、松井会長から、市長の懇談会出席への謝意と、新庁舎「おもや」開庁の祝

意が述べられました。また、市民に親しまれる府中市シルバー人材センターとして、活動を続けたいと表明がありました。
高野市長から、「府中市シルバー人材センターの皆様は、経験と知識を活かし高齢社会で模範となる仕事をされ、今後も支援してまいります」とあいさつがありました。
当センターからの要望事項は、次のとおりです。

1. 当センターとの契約等における適正な価格転嫁について
2. ワーク・プランチの確保(市現業事務所の解体)について



3. 府中市庁舎駐車場の整理業務の終了後の対応について
 4. 敬老の日及び参加型イベント時の当センターPRについて
 5. 公園清掃業務の確保について
 6. 带状疱疹の予防ワクチンへの助成について
- 続いて、柏木福祉保健部長から、府中市の高齢者人口の推移と、福祉施策の説明がありました。
「第7次府中市総合計画に基づいて、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、各種施策を推進します。
シルバー人材センターへの支援等を通じ、高齢者の就労機会を確保し生きがいづくりを図る」と話されました。

第32回安全推進大会「脱水勉強会」開催

7月14日(金)10時から、中央文化センターにおいて、安全委員会主催の「脱水勉強会」が開催されました。30名の会員が参加し、講師は株式会社大塚製薬の山尾雄二氏にお願いしました。

勉強会では、高齢者が脱水症になりやすい理由として、①水分を溜める筋肉量が少ない ②飲食で摂取できる水分量は少ない ③喉の渇きや暑さに気付きにくい、という3点を挙げ、意識して水分摂取を、と注意喚起がありました。

参加者には、熱中症対策グッズのクールネックリングの配布と、大塚製薬の製品である経口補水液OS1とOS1ゼリーが配られ、スポーツドリンクと経口補水液の違いの説明がありました。塩分や糖分のバランス、水分の吸収率などから、スポーツドリンクは、通常の水分補給としての使用が望ましい。経口補水液は、下痢や嘔吐、軽度から中等度までの脱水症の発症に適しているとのことでした。

今回は、30名の定員一杯までご参加いただきました。夏季の重大事故を防ぐため、今後も積極的に講習会にご参加をお願いします。
最後に、池岡安全副委員長の終



わりのあいさつがあり閉会となりました。

西府地域懇談会が開催されました



9月22日
(金) 13時
30分から、
西府地区の
地域懇談
会が、西府
文化セン
ターで開催
されました。

地域懇談会としては、本年度最初であり、会員36名が参加しました。

松村地区委員の司会で始まり、青柳班長の開会挨拶の後、当センターの松井会長から挨拶がありました。「コロナで3年中断し、4年ぶりに地域懇談会が再開となりました。皆様には、地域貢献に協力いただき感謝しています。本日は和やかに楽しく懇談してほしい」と話がありました。田中地域委員会委員長から同委員会の仕事内容の説明があり、続いて小谷田次長から配布資料により「センターの現状と主な課題等」について話がありました。

懇談会の第一部は、府中交通安全協会会長の松本講師から「高齢者のための交通安全読本」を教材に講演がありました。高齢者の交通事故の特徴、自転車の乗り方などについて説

明があり、「配布した反射リストバンドを夜間の交通安全に利用してください」と締めくくられました。

第二部は、冒頭、関根常務理事から自転車ヘルメット購入の補助、配分金の増額、インボイス制度等の話があり、その後、西府地区の各班長の自己紹介、会員の懇談会に入りました。出席した会員からは、入会の動機、接遇の大切さ、仕事の体験談、趣味、今後の抱負などが語られました。

最後に、久保田班長から「有意義な懇談会であり、今後も一致団結して、シルバーセンターを盛り上げていきましょう」と挨拶があり、閉会となりました。



日帰りバスツアー 日の出町ごみ処分場



10月12日
(火)に「日
帰りバスツ
アー」が開
催されました。
この企画は、
会員就業・
交流事業検
討会が主催
(理事会共
催)するもので、バス1台・38名が参加
しました。

日の出町処分場は6年前に見学して以来であり、市内から出たごみが、最終的にどのように処分されているかを知る勉強会です。

9時に大國魂神社前を出発し、10時10分に、日の出町の「東京たま広域資源循環組合・二ツ塚処分場」に到着、エコセメント化施設と二ツ塚処分場を見学しました。

同組合の関さんの説明によると、ここは府中市をはじめ八王子、立川、調布、多摩市など多摩地域の25市1町で構成された事業組合で、400万人の一般廃棄物の最終処分が目的とされています。

「燃やすごみ」を各自自治体で燃やすと燃えカスとして「灰」が残り、それ

を処分するのがエコセメント化施設(年生産10万t)です。二ツ塚処分場は平成10年から稼働し、東京ドーム12倍の広さの埋立地です。これまで45%が埋め立てられたそうです。今回は、それらを学習する機会となりました。

施設見学後は、あきる野市にある「つるつる温泉」に到着し、釜飯の昼食を摂り買い物をし、温泉に浸かって日頃の疲れを取りました。その後、午後4時前に府中に帰着し、三々五々に解散となりました。



航空自衛隊 府中基地見学会

8月10日(木)9時から、会員就業・交流事業検討会主催の自衛隊・府中基地見学会が開催されました。暑い中、参加者は41名でした。

渉外班担当の引率のもとに、航空自衛隊のF104J等の展示機を見学し、記念撮影を行いました。



続いて厚生セン
ターを見
学し、自
衛隊関連
のグッズ
の買い物
などをし
2つの班
に分かれ
見学が始
まりました。
司令
部庁舎
の1階で

司令部の概要説明を受けました。府中基地は、昭和15年に陸軍燃料廠として発足し、終戦後米軍に進駐され、昭和32～49年は米軍基地と併存しました。ここで航空輸送のほか、保安管制、飛行点検、空中給油、航空気象などの任務の説明を受けました。

次は、庁舎3階の中核気象隊の研修を受けました。昭和33年に気象業務隊新設されるなどの沿革と、任務、編成、気象情報などの説明がありました。

広報館に移り、ビデオによる航空自衛隊、府中基地の概要説明を受けました。広報館では宇宙作戦群の説明もありました。

最後は、今年3月に府中基地に移転となった、航空中央音楽隊の演奏の見学です。スイスの演奏旅行を控えた音楽隊は、見事な演奏を披露してくださいました。見学者一同から拍手喝采が送られ、名残惜しい中を、12時前に見学会は終了しました。



◆生涯現役！輝くシルバーさん②⑥◆ 市役所駐輪場整理業務 武田孝一さん



今回は、市役所駐輪場の整理業務の会員の中で、最年長の武田さんにお話を伺いました。

退職を機に平成18年に入会し、郷土の森公園の駐車場や市役所の駐車場整理業務員を経て、平成27年に現在の市役所駐輪場の業務に就いています。

仕事は3人体制でシフトを組み、現場は1人での業務となります。1日4時間勤務で、月に13日から15日位の勤務となります。以前と比べると重い電動自転車の数が増えたようですが、問題はないそうです。

8月に新庁舎「おもや」に移り、災害時にも対応できる働きやすい環境になりました。仕事をし

いると利用者の皆さんから、感謝の言葉や労いの声があります。人との関わりが楽しいと感じる一つです。長年にわたり仕事を継続できてきたのは、楽しい環境の中で人間関係も余り問題がなかったからです。

また、シルバーの事務局の担当の方とも、とても良い関係を築くことができました。

「長生きの秘訣は、仕事を続けること」

この言葉をモットーに、家族の応援もあるので、今後も仕事を続けていきたいそうです。



秋の交通安全パレード

秋の交通安全週間に先立って、府中
市では9月17日(日)の午後1時から
4年ぶりに交通安全パレードが開催
されました。

けやき並木通りを、武蔵府中郵便
局前からフォーリスの前まで行進し、
当シルバーからは理事など19名が参
加しました。



府中警察署の一日署長として、タレ
ントの井本彩花さんがパレードに参
加し、終了後は交通安全トークショー
に出演されました。

9月中旬ながら日差しが強い日と
なりました。行進は白バイを先頭に



交通安全協会少年団、来賓の方、
一日署長、交通安全協会、推進委員協
議会、高齢者交通指導協議会、自治
会連合会、シニアクラブ連合会、シル
バー人材センターと続きました。

これらグループの間には、可愛らし
く素敵な音を奏でる保育園の鼓笛隊
や、府中第一小学校で今年60周年を
迎える「わかば鼓笛隊」の力強い音が
響き、晴れやかで和やかな行進にな
りました。

シルバーから参加した理事・役員
たちは、「自転車 のるとき ヘル
メット」の横断幕を先頭にして、行進
しました。沿道には、鼓笛隊などを応
援されるご家族や関係者で、とても
賑わいを見せました。

働く会員の職場訪問

府中朝日フットボールパーク
管理棟・清掃業務



上田八栄子さん(左)、矢野章子さん(右)

今回は、府中市から業務委託
を受けた「府中朝日フットボール
パーク」の管理棟・清掃業務に
ついて、上田八栄子さんと矢野
章子さんにお話を伺いました。

業務内容は、管理棟の多目的
ルーム、会議室、クラブルーム等
やラウンジ棟の清掃です。

勤務日の基本は、休館日以外の
月・水・金曜日で、勤務時間は8時
30分から11時までの実働2時間
30分です。月平均では8〜10日の
勤務となります。2人勤務のため、
どちらかが都合が悪いときには、

臨時にヘルプをお願いすることも
あります。

清掃業務は、11時までにはすべて
を終える必要がありますが、汚れ
がひどいときは時間一杯かかって
しまいます。

天然芝のグラウンドは、ラグビー
のほかサッカー場も兼ねており、
土・日曜日には少年のサッカー
クラブなどが大会等で使用します。

ラウンジ棟は土足で出入りする
ため、雨が降ったときは泥だらけ
となり、月曜日の清掃には時間が
かかり大変になることがあります。

多目的ルームと会議室は、市民
の皆様が、卓球やダンスなどで利
用しており、「いつもきれいに清掃
していただき、ありがとうございます」と感謝
されています。

お二人は健康に気をつけ、老化
防止のために、今後もこの仕事を
続けたいと話していました。

なお、管理業務については、令和
4年4月発行のふれあい173号
に掲載されておりますので、ご覧
ください。



KSK(会員就業・交流事業検討会)
写真コンテスト入賞作品の発表



阿部 文恵さん
 『花筏とチューリップ』



田丸 博巳さん
 『春のメロディ』



村野 幸夫さん
 『白薔薇』

写真コンテスト
 第21回の入選作品



伊奈 孝一さん
 『間灯にそうバラ』



野滝 英昭さん
 『一打入魂』



松村 巖さん
 『平山室堂平にて一雷鳥』



赤木 愛子さん
 『府中公園にて』

写真コンテスト
 第22回の入選作品



中島 勉さん
 『大木自転車を喰らう』



清水 正之さん
 『三社まつり』



田丸 博巳さん
 『七色の夢』



松村 巖さん
 『夏の夜空の花火』

写真コンテスト
 第23回の入選作品



大竹 恒泰さん
 『二輪仲良く』



松村 巖さん
 『御岳山のサギ草』



赤木 愛子さん
 『巨木のほとり』



中島 勉さん
 『熱中症?セミファイナル!』

写真コンテスト
 第24回の入選作品

張っていました。作業中は、自動車、バイク、自転車、歩行者が行き交う場所なので作業中は、交通事故に遭わないように細心の注意を払います。歩道のごみを拾い集めている途中、行き交う歩行者から「ご苦労様です」と声をかけられました。清掃する会員の心に響き、暑さを忘れさせてくれる一瞬です。清掃が終わる帰宅時には、きれいになった歩道を見ながら、参加者同士が「お疲れ様でした」と労いの言葉をかけ合っていました。



9月16日(土)、午前8時30分～午前10時まで、住吉地区ボランティア清掃が久々に開催されました。住吉文化センターから郷土の森付近まで清掃が行われ、参加者は17名と少なめでした。9月とはいえ残暑が厳しく、参加者は汗だくになりながら、作業を頑張っていました。

住吉地区ボランティア清掃

就業体験講習
「植木剪定講習会」開催



東京しごと財団が主催し、当センターが共催する「植木剪定講習会」が10月2日(月)の13時30分から開催されました。

その対象

は、原則60歳以上の当センター会員でない市内在住の方であり、定員20名のところ、男性が8名、女性が3名参加されました。

まず、座学の講習会がふれあい会館で開催されました。東京しごと財団の西川氏から趣旨説明のあと、当センター事務局の関根職員から事業の紹介と植木班の業務の話がありました。続いて、植木班の国広班長から剪定の手順、切除すべき枝、道具の使い方、安全対策などの講義がありました。

次は、中央文化センター駐車場に移動し、実技指導です。参加者はヘル

メットを着用し、実際の植木で剪定を体験します。脚立作業の注意説明を受け、3班に分かれて植木班9名の指導を受けて、樹形全体の骨格をイメージしながら剪定を行いました。実技終了後の質疑応答では、現場に就いたときの心配事など具体的な質問に対して、植木班の指導者から丁寧な回答があり、参加者には大変好評でした。最後にセンターに戻り、アンケートを記入して無事終了となりました。植木班の皆様にご協力をいただき、ありがとうございます。



あなたの作品を募集します
第8回ふれあい作品展

受付期間：令和6年1月15日(月)～1月24日(水)

※受付期間中でも、募集点数80点になり次第締め切ります。

※詳細は、当センターのホームページをご参照ください。

募集点数：80点(1人1点・先着順)

※出展料は無料

作品内容：洋画(油彩・水彩等)、日本画、版画、書道、写真、オブジェ、人形、彫刻等

開催日：令和6年3月15日(金)～3月17日(日)

場 所：府中市美術館 1階 市民ギャラリー

行事予定

11月 能力開発センター技能祭(3日)

府中市民協働まつり(25日～26日)

令和6年

1月 これからシルバー応援フェスタ(22日)

3月 第8回ふれあい作品展(15日～17日)

計 報

飯島 正道(西府町) 早水 学(南町)

平嶋 弘忠(日新町) 小川 孜(宮西町)

佐藤 篤(押立町) 林 洋二(浅間町)

慎んでお悔やみ申し上げます

編集後記

秋たけなわ、美しい紅葉の季節となりました。いつも広報「ふれあい」をご愛読いただき、ありがとうございます。先日、府中市美術館に行ってきました。こは、令和6年3月に当センター主催の「ふれあい作品展」の開催を予定しているため、下見を兼ねてのことでした。

東府中駅で下車し、北口から北方向に歩くと、間もなくセンター総会を開催した府中の森芸術劇場が見えてきます。そこを抜けると、紅葉に染まる都立府中の森公園から、子供達の歓声が聞こえます。

子供達に元気にパワーをもらいながら、歩道を進むと花壇や緑地に季節の草花が、彩とりどりに咲いています。花のプロムナードを進むと、右手に目指す府中市美術館が見えてきました。

今号の記事は、府中市長との懇談会、働く仲間の職場訪問などが掲載されています。お忙しい中を取材に協力してくれた方、インタビュに答じていただいた皆さまに、心からお礼を申し上げます。

(総務委員長 佐藤)

